令和8年 4 月 20 日～5月 29 日実施　全国学力・学習状況調査 【中学校　英語】 松山市の調査結果の概要

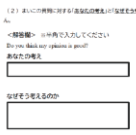
1　英語について

中学校英語の調査は、IRT 方式で実施されました。

これは、生徒それぞれが、全員が共通して解答する問題に加えて、自分に割り当てられた問題（問題セット）に解答し、正解した問題の難易度から学力を推定する方法です。調査の結果は IRT スコアという数値で表され、全国と松山市の IRT スコアを比較すると、全国は 499、松山市は 488 であり、全国とほぼ同じ状況であると考えます。

「聞くこと」「読むこと・書くこと」「話すこと」で集計した領域別正答率も全国平均とほぼ同じ状況でした。

2　分析結果から特徴が見られた問題

10 （２）  	正答例：Your opinion is good. Students can get a lot of information for learning on the internet. 全国の正答率　：27.8％ 「全国の正答率を大きく下回る」
17  	正答例：My favorite person is my sister. She is very kind and she can sing well. 全国の正答率　：48.0％ 「全国の正答率を大きく下回る」

3　考察

１０(２)は、社会的な話題に関して読んだことについて、考えとその理由を書く問題です。松山市では無解答の割合が全国に比べて高くなっていました。書くことができなかった要因として、「文章の読み取りができなった」「文章の内容は読み取ることはできたが、何を書いたらよいか思い浮かばなかった」「書く内容は思い浮かんだが、英語の表現が分からなかった」などの原因が考えられます。

１７は、日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある内容を話すことができるかどうかをみる問題です。松山市の正答率は全国平均を大きく下回っており、伝えたい内容や順序、聞き手に分かりやすい展開や構成を考え、１つのテーマに沿った発表をしたり、内容に一貫性があるスピーチをしたりすることが苦手な生徒が多いと考えられます。

4　これからの学習にあたって

文章を読んで、考えや理由を書く力を伸ばすために、文章を読んで要点を確認した後、自分の考えをキーワードとしてメモなどに整理したり、思考ツールに整理したりすることが考えられます。また、書き手の意見に対して賛否をメモに書いたり、賛成の場合は、理由も同じなのかどうか、反対の場合は、その理由をメモに整理したりすることも考えられます。

まとまりのある内容を話すためには、関心のある事柄について簡単な話す活動を繰り返すことが重要です。「自分の考えとその理由を話す」、「体験したこととその感想を話す」など、２文～３文程度で話す活動を行うことが考えられます。